一般社団法人 品質と安全文化フォーラムの軌跡

～ SRMクロスオピニオンセミナー＆講座ほかの記録 ～

as of 2024.04.21.（縦長）

開催日	講演テーマ	講演者	所属
第1回 2009年6月25日 設立記念 シンポジウム	①「製品安全と消費者の安全、企業はどうすべきか」	向殿政男	明治大学 理工学部教授、 品質と安全文化フォーラム会長
	②「消費者庁の創設に向けて」	扇慎太郎	内閣官房消費者行政一元化準備室参事官補佐
	③パネルディスカッション『消費者と安全と苦情対応』 【パネリスト】向殿政男教授（明治大学）、日佐和夫教授（東京海洋大学大学院）、中村昌允教授（東京農工大学大学院）、 タン・ ミッシェル教授（帝塚山大学）、沼尻禎二氏（家電製品協会消費者部部長）、鈴木清隆氏（㈱ニチレイフーズお客様相談センター長） 【司会】中嶋洋介氏		
	④「品質と安全文化フォーラムの設立趣旨、活動計画について」	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
第2回 2009年7月30日	①『リスクと安全、企業のリスクマネジメントと苦情対応』	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
	②『消費者庁ができると、苦情対応はどう変わるか』	天野泰守	カルビー株式会社 お客様相談室 室長
第3回 2009年8月6日	①「花森安治、中内功に仕えた40年、良い企業の条件 ー向社会性の研究」	小樽雅章	向社会性研究所主任研究員、元ダイエー取締役 品質と安全文化フォーラム理事
	②「消費者庁ができると、企業はどう変わらねばならないか」	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
第4回 2009年11月19日	①「製品安全と表示、製品安全4法と製品安全規格」	長田敏氏	製品評価技術基盤機構 安全調査課課長
	②「食品の表示と安全・安心」	湯川剛一郎	財団法人日本食品分析センター 参与 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	③パネルディスカッション『製品・食品の安全と安心 ～交通安全システムに学ぶ～』 【パネリスト】向殿政男教授（明治大学）、中島恭一教授（富山国際大学）、タン・ミッシェル教授（帝塚山大学）、長田敏氏（NITE） 【司会】中嶋洋介氏		
第5回 2009年12月3日	①『企業のCSRコミュニケーション 消費者の安全と安心』	薗田綾子	㈱クレアン代表取締役
	②『苦情対応マネジメント ―過去を振り返り、将来を考える―』	黒岩健一郎	武蔵大学 経済学部 准教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
第6回 2010年1月19日	①『リコールと経年変化問題と消費者の安全』	島上聖司	経済産業省 製品安全課 課長補佐
	②『消費者庁発足と消費者の安全政策を考える』	古谷由紀子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 常任理事 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	③『食の安全確保とトレーサビリティ』	酒井純	社団法人食品需給研究センター調査研究部 主任研究員
第7回 2010年2月9日	①『消費者安全と消費者コミュニケーション』	中村昌允	東京農工大学大学院教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『苦情と安全を経営に活かす――カルビーのCRM』	天野泰守	カルビー株式会社 お客様相談室 室長 品質と安全文化フォーラム理事
第8回 2010年3月2日	①『消費者目線から見た消費者政策と安全』	タン・ミッシェル	帝塚山大学 法学部教授
	②『消費者安全とメディアの役割 ― 期待と責任』	小島正美	毎日新聞社 生活報道部編集委員
第9回 2010年4月20日	①『生活用品、食品、農薬における製品安全の考え方』	中村昌允	東京農工大学大学院 技術経営研究科 教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『電気用品の安全 ―― 安全規制の現状と課題』	結城則尚	経済産業省商務流通Gr. 製品安全課課長補佐
第10回 2010年5月18日	①『安全と事故調査のあり方―自動回転ドアとエレベータ事故に学ぶ ――事故の調査機関がない』	向殿政男	明治大学理工学部 教授 品質と安全文化フォーラム名誉会長
	②『消費者安全政策について』	野村裕	消費者庁 消費者安全課課長
第11回 2010年6月15日	①『医療事故の予防と発生時の対応 新生児医療の現場からの経験を中心に』	仁志田博司	東京女子医大名誉教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『安全をめぐって、消費者認識と事業者認識のギャップを埋めるもの ～対立から協働へ～』	阿南久	全国消費者団体連絡会事務局長 品質と安全文化フォーラム特別顧問
第12回 2010年7月20日	①『 法律と安全と苦情対応 』	南波裕樹	大成建設株式会社管理本部法務部法務室室長 品質と安全文化フォーラム理事
	②『 食品表示の現状と課題、取り組みについて 』	相本 浩志	消費者庁 食品表示課 課長
第13回 2010年9月8日 特別安全文化講座	①『日本の消費者安全規格の現状 ――ISOの消費者安全規格との比較』	山田次雄	㈶日本規格協会 規格開発部 消費者関連標準化推進室長
	②『ISO22000食品のリスクマネジメント ――ISO Guide51は食品安全に適応可能』	高間一政	㈱日本環境認証機構 取締役 技術部長
	③『ISO機械安全規格の体系とリスクアセスメント ――JIS規格の現状とCEマーキング、EU機械機械指令の思想』	宮崎浩一	㈳日本機械工業連合会標準部 副部長
	パネルディスカッション『製品安全、食品・化学製品安全の仕組み、何が同じで、何が違うか』 ④講演：「製品安全の仕組み（20分）」 講師：向殿政男 明治大学理工学部教授 ⑤講演：「食品・化学製品安全の仕組み（20分）」講師：中村昌允 東京農工大学大学院教授 【パネリスト】 向殿先生、中村先生、山田氏、高間氏、宮崎氏、講座参加者全員 （司会：中嶋）		
第14回 2010年9月9日 特別安全文化講座	①『企業と消費者のリスクコミュニケーションの現状と課題とあるべき姿』	中村昌允	東京農工大学大学院 技術経営研究科 教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『受け入れ可能なリスクと消費者と製品経年変化問題」	中嶋洋介	品質と安全文化フォーラム 代表理事
	③『製品の経年変化問題と消費者・企業・行政のリスク・コミュニケーションのあり方』	藤代尚武	経済産業省 製品安全課 製品事故対策室長
	パネルディスカッション 『企業と消費者のリスクコミュニケーションのあり方』 ④講演：「リスクコミュニケーションのあるべき姿―製品の経年変化とリスク（例：扇風機、湯沸し器など）」 向殿政男明治大学理工学部教授 ⑤講演：「消費者が期待するリスクコミュニケーションと経年変化問題」古谷由紀子㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事 ⑥講演：「企業が期待するリスクコミュニケーションと経年変化問題」川池襄氏 日本機械工業連合会 標準部部長 【パネリスト】向殿先生、中村先生、藤代氏、古谷氏、川池氏、講座参加者全員 （司会：中嶋）		

第15回 2010年9月10日 特別安全文化講座	①『事例で見る日本と欧州・米国のリコール制度』	中村昌允	東京農工大学大学院　技術経営研究科　教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	②『食品の回収、リコールについて、現状と課題 及び 欧米との比較』	湯川剛一郎	㈶日本食品分析センター　参与　　テクニカルサービス部部長 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	③『消費者目線のリコール制度』	古谷由紀子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会　常任理事 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	『消費者に向き合う企業と技術者と倫理』	中村昌允	東京農工大学大学院　技術経営研究科　教授 品質と安全文化フォーラム特別顧問
第16回 2010年10月19日	①『家電製品の安全とADR』	沼尻禎二	家電製品PLセンター　次長
	②消費者（組合員）と行なう品質・安全管理	監物今朝雄	パルシステム生活協同組合連合会商品管理本部長スタッフ
第17回 2010年11月16日	①『認証と安全、ULの認証とULの公共安全のミッション』	原島圭介	株式会社UL Japan　UL University GM , EMS Japan 代表取締役
	②『消費者目線の「安全性」とは』	宗林さおり	独立行政法人国民生活センター商品テスト部　調査役
第18回 2010年12月1日	①『商品事故と報道　～報道は何を伝えたいのか～』	内山太介	NHK科学文化部　記者
	②『うわさ、風評と消費者の心理 ～ 企業と研究者のコラボレーションの必要性、可能性、課題について』	田中優	大妻女子大学　人間関係学部　准教授
第19回 2011年1月18日	①電気用品安全法技術基準体系の見直し ～　ニューアプローチ採用への期待	向殿政男	明治大学理工学部教授 品質と安全文化フォーラム名誉会長
	②品質の保証と信頼の確保の取り組み　雪印乳業の場合	日和佐信子	雪印メグミルク株式会社　取締役
	③食品の安全性と品質の保証　日本生協連の場合	鬼武一夫	日本生活協同組合連合会　組織推進本部 安全政策推進室　室長
	④安全品質、安心品質、そして信頼を得る為には	杉山清	株式会社ニトリ　取締役専務執行役員　品質業務改革室長
第20回 2011年2月15日	①医薬品の事故と問題提起　――　医薬品の品質と安全	林 裕（ゆたか）	ゼリア新薬工業株式会社　薬事品質保証部　課長
	②サントリーにおける安全・安心への取り組み ～ お客様原理主義に基づいて ～	冨岡　伸一	サントリービジネスエキスパート株式会社 品質保証本部・品質保証推進部　部長
第21回 2011年3月28日 特別安全文化講座	①『リスクをどこまで減らせば、安全になり、安心できるか』	松岡　猛	宇都宮大学工学部機械システム工学科 教授
	②『ジャーナリズムはリスクをどう伝えるべきか ――――研究者とメディアの協働に向けて』	田中　幹人	早稲田大学大学院　准教授
	③『リスクコミュニケーションと技術者　―情報提供者としての責務　』	中村　昌允	東京農工大学大学院　教授
	④『信頼性工学と安全』	中島　恭一	富山国際大学　学長　教授
	⑤パネルディスカッション 『メディアとリスクコミュニケーション メディアは真実を伝えているか？伝えられるか？』 司会　中嶋洋介氏　品質と安全文化フォーラム代表理事	南波　裕樹 安川　拓次 小松　義明 田中　幹人 松岡　猛 中島　恭一 中村　昌允	大成建設㈱ 法務部法務室 室長 花王㈱ フード＆ビバレッジ事業グループ長 グラクソ・スミスクライン㈱　広報部　部長 早稲田大学大学院　准教授 宇都宮大学工学部機械システム工学科　教授 富山国際大学学長　教授 東京農工大学大学院　教授
第21回 2011年3月29日 特別安全文化講座	①『ヒューマンエラーはなぜ起きる？　ヒューマンエラーを防ぐ知恵』	中田　亨	（独）産総研 デジタルヒューマン工学研究センター
	②『消費者の誤使用と企業の対応』	川野　洋治	㈳消費者関連専門家会議 専務理事
	③『消費者の誤使用はヒューマンエラーか、 個人と組織集団のヒューマンエラー』	中嶋　洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
	④『事故とヒューマンエラー』	中村　昌允	東京農工大学大学院　教授
	⑤『ヒューマンエラーとどう向き合うか』 ⑥　パネルディスカッション 『ヒューマンエラーとどう向き合うか ――ヒューマンエラーと消費者の誤使用と事故原因を考える』 司会　中嶋洋介氏　品質と安全文化フォーラム代表理事	向殿　政男 中田　亨 向殿　政男 中村　昌允 川野　洋治 南波　裕樹	明治大学理工学部教授 （独）産総研 デジタルヒューマン工学研究センター 明治大学理工学部教授 東京農工大学大学院　教授 ㈳消費者関連専門家会議 専務理事 大成建設㈱ 法務部法務室 室長
第22回 2011年4月12日	①『SRの時代における消費者委員会の役割とISO26000の意義』	松本　恒雄	一橋大学大学院法学研究科教授（元法科大学院長） 内閣府消費者委員会委員長、ISO/SR国内対応委員会委員長
	②『ISOの変遷　―― 品質・安全・環境からCSRへ』	中嶋　洋介	品質と安全文化フォーラム代表理事
第23回 2011年5月10日	①『食に関する風評被害について』	梅津 準士	食みらい研究所㈱　元食品安全委員会事務局長
	②パネルディスカッション 風評被害、消費者の疑心暗鬼を最小化させるために 司会　中嶋洋介氏　品質と安全文化フォーラム代表理事	梅津 準士 堀口 逸子 田代 光輝	食みらい研究所㈱　元食品安全委員会事務局長 順天堂大学公衆衛生学教室リスクコミュニケーション ニフティー株式会社、産業技術大学院大学
	③『福島原発　食品の放射能汚染と人体への影響』	林　徹	聖徳大学 人間栄養学部　教授、　元食総研所長
第24回 2011年6月10日（金） 10:00－16:00	ニトリ工場見学会 午前：ニトリ東京本部（東京都北区神谷3丁目6－20） 午後：ニトリ関東DC（埼玉県南埼玉群白岡町大字篠津1276－4）	参加者：18名　案内者：㈱ニトリ　杉山清専務、佐藤和明氏	
第25回 2011年6月17日（金）	①『消費者のリスク認知と信頼』	中谷内 一也	同志社大学　心理学部　　教授
	②『安全をめぐる消費者行動の比較 ― 豪州と日本の消費者　リスクに対して、何が同じで、何が違うか？』	タン ミッシェル	帝塚山大学　法学部　教授
第26回 2011年7月22日（金）	①『リスクマネジメントはリスク探しから ――　全社的リスクマネジメント（ERM）を考える』	本間　俊明 中嶋　洋介	株式会社ドキュメントハウス代表取締役社長 品質と安全文化フォーラム　代表理事
	②『食の安全とリスクコミュニケーション ――　クロスロードゲームを通じて考える』	堀口　逸子	順天堂大学　医学部公衆衛生学教室

第27回 2011年9月13日（火） 13:00～19:00 特別安全文化講座	『ISOの安全に関する規格の現状と課題（製品・食品・化粧品・医薬品）』	若井　博雄	財団法人日本規格協会 企画部長　現ISO理事
	『日本、EU、米国などの内外の食品安全規格、及び HACCAP、ISO22000、codex委員会について　現状と課題』	高橋　梯二	東京大学大学院農学生命科学研究科　非常勤講師 トウールーズ大学法学博士（食品法）
	『世界の安全認証と米国におけるUL規格と関連する規格』	阿部　勇治	株式会社UL Japan　製品認証部長
	全員参加のディスカッション 『製品安全と食品安全　技術標準、安全規格と法律について』	司会 中嶋　洋介	品質と安全文化フォーラム　代表理事
第27回 2011年9月14日（水） 13:00～19:00 特別安全文化講座	『集団浅慮と空気の研究　お任せの安全が起きている』	中嶋　洋介	一般社団法人品質と安全文化フォーラム代表理事
	『組織行動論と専門職集団 ――組織の中でのコンフリクトと倫理・不祥事』	チェ・インソク	専修大学　経営学部　教授
	『「うるさ型」を企業の意思決定に役立てる』	羽田　昭裕	日本ユニシス株式会社総合技術研究所所長
	『組織過誤、過去の教訓をリスクマネジメントに生かす』	細田　聡	関東学院大学　文学部現代社会学科　教授
	全員参加のディスカッション『集団浅慮とリーダシップ --集団の意思決定を誤らないようにするには、どうすればよいか？』	司会	品質と安全文化フォーラム　代表理事
第28回 2011年10月4日（火）	『人災と責任、マネジメントはどうあるべきか』	中田　亨	独)産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター 研究員・博士（工学）
	『食肉の生食による食中毒 事故と責任を巡る企業と消費者』	中野　栄子	㈱日経BPコンサルティング開発本部 編集グループ プロデューサー
第29回 2011年11月9日（水）	「安全文化を育てよう　～安全な社会への貢献～」	向殿　政男	明治大学理工学部教授 品質と安全文化フォーラム名誉会長
	「食品の安全と企業の役割　～食品安全の責任～」	高橋　梯二	東京大学大学院農学生命科学研究科　非常勤講師 トウールーズ大学法学博士（食品法）
	「製品安全・食品安全　企業と行政と消費者の役割」	野々山　宏	独立行政法人国民生活センター理事長
	「　UL Universityからの発信　安全は品質を運ぶ船（うつわ）である」	原島　圭介	株式会社UL Japan　UL University部長、 株式会社UL ASG Japan代表取締役社長
第30回 2011年11月15日（火）	『福島第一原発事故を分析する、事故原因と今後の見通し』	松岡　猛	宇都宮大学工学部客員教授　日本学術会議会員
	『生産環境、農業資材の放射能汚染を踏まえた食品の安全確保につい て』	湯川　剛一郎	(財)日本食品分析センター テクニカルサービス部長 日本技術士会　農業部会長
第31回 2011年12月7日（水）	『苦情対応マネジメント　－顧客満足と市場志向－』	黒岩　健一郎	武蔵大学　経済学部　准教授
	『消費者の苦情対応とADRの実態』	田中　圭子	NPO日本メディエーションセンター代表理事
	『企業にとっての正しいリスクの伝え方　』	小島　正美	毎日新聞社　編集委員
第32回 2012年1月17日（火）	『商品の安全・品質と企業の役割 ～企業における安全・品質確保の取り組みと責任体制のあり方～ 』	齋藤　憲道	同志社大学　法学部　教授
	『企業におけるSNSコミュニケーションリスク』	田代　光輝	株式会社ニフティー　社会活動推進室
	『消費者の安全確保のための新しい制度と国民生活センターの役割 ～消費者庁内に「消費者安全調査会」を設置～　』	野々山　宏	独立行政法人国民生活センター理事長
第33回 2012年2月21日（火）	原子力発電所　ストレステストの意味するところ	松岡　猛	宇都宮大学工学部客員教授　日本学術会議会員
	消費者保護から消費者主権へ　生団連設立が問いかけること ※生団連：国民生活産業・消費者団体連合会	井上　淳	日本チェーンストア協会　専務理事　兼 生団連 専務理事代行
第34回 2012年3月28日（水） 13:00～17:00 特別安全文化講座	風評被害の防止と効果的なリスクコミュニケーションの方法	有路　昌彦	近畿大学　農学部水産学科 水産経済研究室　准教授
	エコナ販売自粛の経緯とその後	安川　拓次	花王株式会社　執行役員 ヒューマンヘルスケア事業ユニット フード＆ビバレッジ事業グループ長
	パネル・ディスカッション テーマ　：　風評被害のリスク　企業はどう対応すべきか	有路　昌彦 安川　拓次 冨岡　伸一 中野　栄子 羽田　昭裕 中嶋　洋介	近畿大学　農学部　水産学科　准教授 花王株式会社　執行役員 サントリービジネスエキスパート㈱　品質保証部長 日経BPコンサルティング　編集グループ 日本ユニシス株式会社　総合技術研究所　所長 司会
第35回 2012年4月10日（火） 消費者関連研究会	企業のインターネットトラブル事例の紹介と対応方法 【基礎編】	田代　光輝	㈱ニフティー　社会活動推進室
	コミュニケーショントラブル 説得と苦情対応の理論と実際　【基礎編】	中嶋　洋介	一般社団法人　品質と安全文化フォーラム　代表理事
第36回 2012年4月24日（火）	ISO TC199機械安全における安全の論理と理念 ――この考え方はすべての分野の安全に通じる――	向殿　政男	明治大学　理工学部　情報科学科　教授
	空の安全とALPA （日本乗員組合連絡会議） ――皆さんと考えたい事故調査と安全――	髙本　孝一	元日本航空　ボーイング747機長、MD-11機長 日本乗員組合連絡会議（ALPA）
第37回 2012年5月23日（火）	化学物質のリスク評価とゼロリスク ～ゼロリスクを考える～	蒲生 昌志	独立行政法人　産業技術総合研究所 安全科学研究部門　リスク評価戦略グループ長
	子どもはだれでも明日の消費者 ～消費者教育の意義を考える～	細川　幸一	日本女子大学　家政学部　教授 内閣府　消費者委員会　委員
第38回 2012年6月8日（金） 13：00～17：00 消費者関連研究会	企業のインターネットトラブル事例の紹介と対応方法 【シリーズ第2回目】	田代　光輝	ニフティー株式会社　開発推進室 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	消費者のリスク認知と意思決定 【行動意思決定論的アプローチ】	竹村　和久	早稲田大学文学学術院　教授 早稲田大学意思決定研究所　所長
第39回 2012年6月26日（火） 13:00～17:00	一般化してきたフードディフェンス対策と消費者安全	湯川　剛一郎	東京海洋大学 先端科学技術研究センター 食品流通安全管理専攻教授
	凸版印刷が見る優良企業50社のCSRコミュニケーションと消費者の安全	今津　秀紀	凸版印刷株式会社　情報コミュニケーション事業本部 トッパンアイデアセンター　マーケティング本部 CSR・ブランド戦略チーム課長
第40回 2012年7月10日（火） 13:00～17:00 消費者関連研究会	顧客苦情対応の実際と今後	佐々木　光邦	元ソニー株式会社　顧客対応・苦情対応部門 品質と安全文化フォーラム理事　事務局長
	クレームに対する法的対応と個人情報保護法	中井　淳	弁護士　林勘市法律事務所

第41回 2012年7月24日（火） 14:00～17:30	13:00～13:50　総会		
	リコールリスクと企業の社会的責任 消費者の危険回避モデル議論とISO26000の議論	越山　健彦	千葉工業大学　社会システム科学部　教授 品質と安全文化フォーラム　特別顧問
	事例に学ぶヒューマンエラーとその対策について	垣本　由紀子	日本ヒューマンファクタ研究所　安全人間工学担当 元実践女子大学　生活科学部生活環境学科　教授 品質と安全文化フォーラム　特別顧問
第42回 2012年8月7日（火） 13:00～17:00	企業のネットトラブルとネット・SNS活用法	田代　光輝	ニフティー株式会社　開発推進室 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	企業のネットトラブル　標的型攻撃のメールの手口と対策	内山　友弘	独立行政法人 情報処理推進機構（IPA） 技術本部 セキュリティセンター 普及グループ
第43回 2012年9月4日（火） 13:00～17:00 特別安全文化講座	労働安全における事故事例と安心と安全の問題	細田　聡	関東学院大学文学部教授 財団法人労働科学研究所主任研究員
	14:30～17:00 フリー ディスカッション： 『労働安全における安心・安全から、消費者の安心・安全を考える』	松岡猛先生（宇都宮大学）　機械安全、製品安全の立場 垣本由紀子先生（日本ヒューマンファクター研究所）ヒューマンエラーの立場 南波裕樹氏（大成建設法務室長）企業法務の立場 細田聡先生（財団法人労働科学研究所主任研究員）労働安全の立場か 司会：中嶋洋介氏（品質と安全文化フォーラム　代表理事）	
第44回 2012年9月5日（水） 13:00～17:00 特別安全文化講座	リスク社会における食品の安心	高橋　梯二	東京大学大学院、トウールーズ大学法学博士 食品法 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	フリー ディスカッション 『どうすれば消費者の安心を築けるか ～安心すると事故につながる？～』	古谷由紀子氏（日本消費生活アドバイザー・コンサル協会）：消費者の立場 越山健彦先生（千葉工業大学　社会システム科学部教授）：製品安全の立場 南波裕樹氏（大成建設法務室長）　：企業法務の立場 高橋梯二先生（東京大学大学院）　：食品安全の立場 司会：中嶋洋介氏（品質と安全文化フォーラム　代表理事）	
第45回 2012年10月23日（火） 13:00～17:00	『食物アレルギー、食品表示、そして消費者』	丸井　英二	人間総合科学大学　人間科学部　教授
	『安全品質が維持された商品の提供 ・・・ニトリの経営コンセプトとその仕組み/機能』	杉山　清　氏	株式会社 ニトリ 東京本部 取締役専務執行役員　品質業務改革室長
第46回 2012年11月30日（金） 13:30～17:30	『安全を考える　コンピューターの安全と機能安全　』	向殿　政男	明治大学　理工学部　情報科学科　教授 一般社団法人品質と安全文化フォーラム名誉会長
	『安全を考える　鉄道におけるヒューマンファクターと安全』	楠神　健	東日本旅客鉄道株式会社　JR東日本研究開発センター 安全研究所　所長
第47回 2013年1月22日（火） 13:00～17:00	『国際的な消費者政策の動向 ――ISO COPOLCO（消費者政策委員会）の動き』	中久木　隆治	一般財団法人　日本規格協会　標準化基盤部 消費者関連標準化推進室　室長
	『変わりゆく消費者庁 ～もっと消費者に“見える”存在に！』	阿南　久	消費者庁　長官 元品質と安全文化フォーラム特別顧問
第48回 2013年2月26日（火） 13:00～17:00	『企業法務部門が消費者の安全にどのように貢献できるか』 ～企業法務は、消費者の安全にとって、「敵」か「味方」か？～	南波　裕樹	大成建設株式会社　法務部法務室長
	『新しい国際規格　－　ISO 10377（製品安全ガイドライン）及び ISO 10393（製品リコールガイドライン） ～商品の安全とリコールの考え方について』	弘田　貴巳	独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター　標準・技術基準課　主査
第49回 2013年3月27日（水） 13:00～17:00	『私の中の安全の歴史』	向殿　政男	明治大学　理工学部　教授 一般社団法人品質と安全文化フォーラム名誉会長
	『安全・安心とリスクコミュニケーション』	北野　大	明治大学　理工学部　教授
第50回 2013年3月28日（木） 13:00～17:00	『コミュニケーション特性から見るリスクコミュニケーション』	中嶋　洋介	大妻女子大学人間関係学部非常勤講師（消費行動論） 一般社団法人品質と安全文化フォーラム　代表理事
	『食品による健康危機発生時における 社会的な反応とリスクコミュニケーション』	濱田　美来	㈱三菱総合研究所　社会公共マネジメント研究本部 食農ビジネスグループ　研究員
第51回 2013年4月24日（水） 13:00～17:00	『コーポレート(本社)品質部門の見える化による 製品安全ガバナンス活動展開』	黒沼　陽一郎	株式会社東芝　品質統括本部品質推進室 品質技術担当参事
	『食品安全行政のグローバルな枠組み』	山田　友紀子	農林水産省顧問　農学博士 （前）農林水産省大臣官房　技術総括審議官
第52回 2013年5月21日（火） 13:00～17:00	『製品安全を紐解く ～流通事業者としての消費生活用製品の安全確保について～』	佐々木　靖	日本生活協同組合連合会　品質保証本部 安全政策推進室　家庭用品担当
	『食品安全情報の伝え方～消費者教育事例から』	蒲生　恵美	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会（NACS） 食生活特別委員会副委員長
第53回 2013年6月19日（水） 14:00～17:00	消費者市民社会の形成を目指した消費者教育・商品等の安全教育	米山　眞梨子	消費者庁 消費生活情報課 消費者教育担当
	『新しい時代のための事業者と消費者の協働』	井上　淳	国民生活産業・消費者団体連合会　専務理事 日本チェーンストア協会　専務理事
第54回 2013年7月24日（水） 13:00～17:00	消費者安全調査委員会の取り組みと今後の展望	片山　登志子	弁護士　片山・黒木・平泉法律事務所 消費者安全調査委員会委員
	消費者裁判手続特例法案と消費者団体訴訟制度について	黒木　理恵	弁護士　片山・黒木・平泉法律事務所
	渋谷シエスパ温泉爆発事故判決とその影響について ―事業者の責任と取引のあり方、従業員・消費者・生活者の安全について	南波　裕樹	大成建設株式会社　管理本部　法務部　部長
第55回 2013年8月21日（水） 13:00～17:00	『リスクと安心　――　日本人はリスクを理解する国民に変身できるか』	安井　至	独立行政法人製品評価技術基盤機構　理事長
	『“R-Map”とは？　――　“R-Map”を食品などに適用できるか？』	松本　浩二	日科技連R-Map実践研究会　統括主査 PS（製品安全）コンサルタント
第56回 2013年9月25日（水） 13:00～17:00	『「OKAトライアングル」を読み解く ～製品の安全な使用と誤使用の関係 ～』	高杉　和徳	製品安全コンサルタント　（元株式会社東芝） 品質と安全文化フォーラム特別顧問
	『食物アレルギーへの対応　～消費者の「安全」と「食べる喜び」～』	大石　泰之	日本ハム（株）中央研究所　次長

第57回 2013年10月23日（水） 13:00～17:00	『 ISASI 2013に参加して 次世代の事故調査官をいかに育てるか 航空事故調査における次世代へのスキル・知識の継承について』	垣本　由紀子	日本ヒューマンファクター研究所　顧問　安全人間工学担当 品質と安全フォーラム特別顧問
	『持続的な社会の実現を目指す花王の学校教育活動 』	深澤　純一	花王株式会社　生活者コミュニケーションセンター　部長
第58回 2013年11月21日（木） 13:00～17:00	『食品の安全性も現場に出かけて現物を見て考えよう』	戸部　依子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 NACS消費生活研究所
	『みんなでディスカッション OKAトライアングルから考える消費者の　安全と企業の責務 』	向殿　政男	明治大学　名誉教授 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 会長
第59回 2013年12月18日（水） 13:00～17:00	『 ヒューマンエラーの理論と現実を点検する 現場の知恵を理論に生かし、人災を防ぐマネジメントを！』	中田　亨	(独) 産業技術総合研究所　セキュアシステム研究部門 セキュアサービス研究グループ　主任研究員 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 特別顧問
	『事故の発生、組織の保身と腐敗』	松岡　猛	元宇都宮大学　教授 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 特別顧問
第60回 2014年1月22日（水） 13:00～17:00	『組織学習理論とその実践的含蓄 ――組織と学習　なぜ、組織は同じ 誤りを繰り返すか？　』	三橋　平	慶応義塾大学　商学部　商学研究科　教授
	『消費者の安全と企業の社会的責任 ――消費者市民社会における企業の責務と消費者の責務　』	松本　恒雄	(独)国民生活センター　理事長 元一橋大学大学院法学研究科教授 元内閣府消費者委員会委員長
	『消費者の安全・安心と消費者庁のこれから ――食品の虚偽表示で何が問われたのか　』	阿南　久	消費者庁　長官
第61回 2014年2月19日（水） 13:00～17:00	『　近代的な安全文化の再考 ～津波と犯罪からの子どもと住まいの安全を例に　』	山本 俊哉	明治大学　理工学部　建築学科　教授
	『　安全へのアプローチ 危ない！の科学と日常生活インフォマティクス　』	西田 佳史	独立行政法人 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター　首席研究員
第62回 2014年3月19日（水） 13:00～17:00	『製品の安全・品質と、認定・認証制度 ブランド、認証マーク、法規制とその信頼性　』	瀬田　勝男	独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター　技監（工学博士）
	『食品企業の視点で観る安全及びリスク情報発信の実際 ～食品の安全、リスクの伝達、企業の社会的責任などについて～　』	小出　薫	一般社団法人品質と安全文化フォーラム　理事 株式会社 明治　特別顧問
第63回 2014年4月18日（金） 13:00～17:00	『消費者団体の今とこれからを考える』	井上　拓也	茨城大学 人文学部 社会科学科　教授
	『食品企業にとっての安全文化と立ち位置 ～私見を含めて今後の課題と展望～』	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　　取締役 品質保証室長
第64回 2014年5月23日（金） 13:00～17:00	『ISO26000　企業の社会的責任とは ～消費者の安全に加え、企業に求められること～　』	湯川　剛一郎	東京海洋大学　先端科学技術研究センター 食品流通安全管理専攻 教授
	『製品安全における認定・認証制度の利用 －国際規格での規定と各国・地域の差異－』	瀬田　勝男	(独)製品評価技術基盤機構 認定センター(IAJapan)　技監
	『消費者の安全と製品・食品などの認定・認証制度　現状と今後の課題』	原島　圭介	株式会社 UL ASG Japan　代表取締役社長
第65回 2014年6月20日（金） 13:00～17:00	『「安全第一」の来し方行く末 ――　何にゆえに安全が一般社会に普及しないのか』	白崎　彰久	中央労働災害防止協会マネジメントシステム審査センター所長
	『「安全第一を考える」　―― 安全第一の功罪 』	向殿　政男	明治大学　名誉教授
	『「安全第一」 なぜ、安全は広がらないのか 安全・品質・生産」の中で　どうしたら安全が広がるか』	中嶋　洋介	一般社団法人 品質と安全文化フォーラム 代表理事
第66回 2014年7月18日（金） 13:40～17:00	「反科学」社会とどう向き合うか	掛谷　英紀	筑波大学　システム情報系　准教授
	「これからの消費者庁　～平成25年度「消費者白書」から考える～」	片山　朗	消費者庁　消費者調査課長　（元消費者情報課長）
第67回 2014年8月22日（金） 13:40～17:00	「商品回収のリスクマネジメント」	天野　泰守	カルビー株式会社　コーポレートコミュニケーション本部 本部長補佐
	「消費者とリコール　リスクマネジメントをどう考える」	戸部　依子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 消費生活研究所 所長
第68回 2014年9月19日（金） 13:00～17:00	「学校における消費者教育の現状と課題 」	神山　久美	山梨大学大学院　教育学研究科　准教授
	「消費者安全と消費者教育の進め方～2年間の振り返りとこれからの課題」	阿南　久	前消費者庁長官　「日本だまされないゾウ学会」会長
第69回 2014年10月24日（金） 13:00～17:00	「安全・安心なコミュニティーづくりと人々の安全」	鈴木　俊治	明治大学理工学部客員教授、ハーツ環境デザイン　代表
	「建築構造物の安全・品質と人々の安全　」	長島　一郎	大成建設株式会社　技術センター　建築技術研究所　所長
第69回 2014年11月21日（金） 13:00～17:00	『品質NO.1経営と品質保証』	岩間　清	日本ハム株式会社　品質保証部　次長
	『リコール・自主回収の現場最前線』	茂木　孝夫	ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ株式会社　課長 リコールサポート・コンダクター
第70回 2014年12月19日（金） 13:00～17:00	「多様な基準値を通して考える安全の本質 ～リスク・ベネフィット・トレードオフ～　」	岸本　充生	東京大学　公共政策大学院　特任教授
	「自動車の安全技術と品質・安全 ～目指すべき自動車の安全とは～　」	伊藤　誠	筑波大学　システム情報系　教授
第71回 2015年1月23日（金） 13:00～17:30	「消費生活用製品の事故動向とリスク低減に向けた取組み」	山本　修	(独)製品評価技術基盤機構　理事
	「Guide51の改訂の要点とJIS化、及び我が国に与える影響」	向殿　政男	明治大学　名誉教授
	「消費者庁の今後の展開と消費者安全について」	板東　久美子	消費者庁長官
第72回 2015年2月17日（火） 13:00～17:00	「医療提供側の立場から見るアレルギーの問題とリスク　」	関谷　剛	東京大学医学部附属病院アレルギー・リウマチ内科医師 埼玉医科大学　非常勤講師
	「飲食の現場から見るアレルギーの問題とリスク」	中西　純一	一般社団法人アレルギー検査協会
	「消費者目線で考える食物アレルギーと食品表示の問題点とリスク」	戸部　依子	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 NACS消費生活研究所長、食生活特別委員会　委員長
	「食物アレルギーと食品表示との関係」	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　取締役　品質保証室長

第73回 2015年3月17日（火） 13:00～17:00	「製品の安全コミュニケーションと消費者のリスク 」	正木　秀樹	株式会社コシダアート　専務執行役員
	「消費者目線で考える取扱説明書と安全コミュニケーション」	松島　一恵	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 NACS消費生活研究所
	「食品事業者の消費者との安全コミュニケーションのあり方　」	山崎　毅	NPO食の安全と安心を科学する会　（SFSS）理事長
	「消費者から見る食品、医薬品の安全コミュニケーション　」	戸部　依子	㈳日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 NACS消費生活研究所長、食生活特別委員会　委員長
第74回 2015年4月21日（火） 13:00～17:00	「善い会社」とは	野村　修也	中央大学法科大学院　教授 森・濱田松本法律事務所　客員弁護士
	「善い会社」とは	西頭　恒明	日経BP社　日経ビジネス編集部長
第75回 2015年5月19日（火） 13:00～17:00	「製品の安全と人材育成」	三上　喜貴	長岡技術科学大学　副学長（国際交流担当） 安全安心社会研究センター長　システム安全系　教授
	パネルディスカッション『商品の安全とサプライヤーの責任/安全のための人材育成」』 コーディネーター：向殿政男 パネラー　：三上喜貴(長岡技術科学大学)、田中祥太郎(パナソニック)、川名美宏(アイリスオーヤマ)、杉山清(ニトリ)、有馬大輔(ハウス食品) 進行役　：中嶋洋介		
第76回 2015年6月16日（火） 13:00～17:00	『**車座ディスカッション Jun. 2015**　テーマ：「消費者にリスクを正しく理解してもらうためには、リスクをどのように伝えたら良いか？」』 座長　：　小出　薫（㈱明治　顧問）、 向殿 政男（明治大学名誉教授） 出席者：天野泰守（カルビー）、大島昌子（元花王）、斎木茂人（日本ハム）、南澤陽一（日清製粉）、宗林さおり（（独）国民生活センター）、 監物今朝雄（元パル生協）、中西純一（アレルギー検査協会）、林裕（ゼリア新薬工業）、羽田昭裕（日本ユニシス）、松島一恵（NACS）		
第77回 2015年7月21日（火） 13:00～17:00	『ソーシャルメディアと企業・生活者の関わり』	細川　一成	㈱電通パブリックリレーションズ　シニアコンサルタント
	『SNSの特徴から考える： SNS時代における消費者と企業とのコミュニケーション』	阿部　勘一	成城大学　経済学部　准教授
第78回 2015年8月18日（火） 13:00～17:00	リスクを伝える 『 消費者にリスクを正しく理解してもらうためには、リスクをどのように 伝えたら良いか？ 』	向殿　政男	明治大学　名誉教授　明治大学 校友会長
	日本人の行動様式『 リスクを「避ける」から「比較する」へ 』	安井　至	東京大学 名誉教授 （独)製品評価技術基盤機構・名誉顧問
第79回 2015年9月15日（火） 13:00～17:00	食品安全のリスクマネジメント — ISO 22000とHACCP	湯川　剛一郎	東京海洋大学 先端科学技術研究センター　教授
	平成27年版消費者白書について—安全分野を中心に—	尾原　知明	消費者庁消費者安全課長
第80回 2015年10月20日（火） 13:00～17:00	安全にかかわる技術の先見力	伊藤　誠	国立大学法人 筑波大学　システム情報系　教授 大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻担当
	いすゞの安全運転支援の取組みとヒューマン ファクタ的課題	岩男 眞由美	㈱いすゞ中央研究所 主席研究員
第81回 2015年11月17日（火） 13:00～17:00	安全技術者倫理について考える	向殿　政男	明治大学　名誉教授
	弱者としての新生児に対するインフームド コンセントと生命倫理	仁志田 博司	東京女子医大　名誉教授
第82回 2015年12月15日（火） 13:00～17:00	メディア・バイアスと企業の消費者対応	小島　正美	毎日新聞社　生活報道部　編集委員
	溢れる医療・健康情報にどう向き合うか	小嶋　修一	TBSテレビ　報道局　解説委員
	専門職と倫理観－応用倫理学による検討	谷　俊子	東海大学　教育研究所　助教　専門：企業倫理
第83回 2016年1月22日(金) 13:00～17:00	消費者安全調査委員会の活動、製品事故と食品事故対応、 これまでとこれから	松岡　猛	宇都宮大学大学院工学研究科　元教授
	消費者の安全と消費者委員会の活動	黒木　理恵	内閣府消費者委員会 事務局長　・弁護士
	景品表示法の改正～不当表示規制と課徴金制度について	菅久　修一	消費者庁　審議官
第84回 2016年2月19日(金) 13:00～17:00	食品中の化学物質のリスク評価について	畝山　智香子	国立医薬品食品衛生研究所　安全情報部　第三室長
	全員参加のディスカッション：　消費者に食品、製品、生活環境などのリスクをどう伝えれば良いか」 (1)『日本人のヒ素リスク　～　米＆ひじきのヒ素のリスク』 畝山智香子(国立医薬品食品衛生研究所　安全情報部 第三室長) (2)『製品安全分野の安全目標とリスク低減策について 』 松本浩二　（日科技連R-Map実践研究会　統括主査）		
第85回 2016年3月17日(木) 13:00～17:00	「NITEが注目する子どもと高齢者の事故事例 ～リスク低減に向けた取り組み～」	酒井　健一	独立行政法人　製品評価技術基盤機構 製品安全センター　製品安全技術課　専門官
	「国民生活センターと消費者の安全　～これまでとこれから」	松本　恒雄	独立行政法人国民生活センター　理事長
第86回 2016年4月15日(金) 13:00～17:00	「食品の流通におけるマネジメント上の課題」	湯川　剛一郎	東京海洋大学 先端科学技術研究センター　教授
	「食品事故事例とISO22000の効能」 “未然・再発防止の道標”	田中　好雄	田中技術士事務所 代表 （技術士 ： 経営工学・農業部門）
第87回 2016年5月19日(木) 13:00～17:00	「食品安全分野におけるリスクアセスメントとリスクコミュニケーション」	木下　光明	農研機構(NARO)　生研支援センター　新技術開発部長
	「ISO規格のモノづくりの安全に関わる基本概念、 リスクアセスメントと3ステップメソッド ISO/IEC Guide51（JIS Z 8051：2015 安全側面－規格への導入指針）	向殿　政男	明治大学　名誉教授、 明治大学校友会　会長
第88回 2016年6月17日(金) 13:00～17:00	「パナソニックの子どもと暮らす住まいのカタチ **「ウチトコ」と安全評価の取り組み」**	伊藤　雅人 武長　智子	パナソニック㈱ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄ解析センターﾕｰｻﾞﾋﾞﾘﾃｨｿﾘｭｰｼｮﾝ部 パナソニック㈱ ｴｺｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ社 ﾃﾞｻﾞｲﾝｾﾝﾀｰ企画・開発部
	「ゼロリスク論と戦うためのリスク論　**ーリスクのバックグラウンド」**	安井　至	東京大学　名誉教授／持続性推進機構　理事長
	「リスクをどこまで減らせば良いのかに合意はあり得るのか？ **～リスクを誰が決めて誰が受け入れるのか～」**	向殿　政男	明治大学　名誉教授
第89回 2016年7月15日(金) 13:00～17:00	ヒューマンエラーに規格をはめる？ 人が介在するシステムの安全をどう測るか	中田　亨	国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター 知識情報研究チーム　研究チーム長　博士（工学）
	人(ひと)がサイバーアタックを防御できるようにするための設計	福住　伸一	NEC データサイエンス研究所　技術主幹 （ヒューマンインタフェース）　博士（工学）
第90回 2016年8月26日(金) 13:00～17:00	食品安全のしくみ（HACCP、FSSC22000） リスクアセスメント、リスク コミュニケーション	小田切　智美	NPO法人　サニテーション・デザイナー協会　理事
	R-Mapを製品と食品のリスクアセスメントに使ってみよう	松本　浩二	日科技連R-Map実践研究会　統括主査 元独立行政法人　製品評価技術基盤機構　技術顧問

第91回 2016年9月23日(金) 13:00～17:00	衣服や靴などの着装品の「安全性」と「快適さ・楽しさ・個性の表現」	土肥　麻佐子	大妻女子大学短期大学部 家政科　准教授
	平成28年版消費者白書について ～ 地方消費者行政 および 消費者志向経営を中心に ～	澤井　景子	消費者庁　消費者調査課長
第92回 2016年10月20日(金) 13:00～17:00	パネルディスカッション （進行役：中嶋洋介） 『消費者リスク コミュニケーションを構造化して考える』 ①「消費者の自己責任」について ②「消費者への学習支援、教育」について ③「消費者へリスクを伝える」について ④「消費者へのリスク コミュニケーション」を考える	パネラー 相馬　成光　日本ピュアフード株式会社 内堀　伸健　日本生活協同組合連合会 山崎　毅　NPO食の安全と安心を科学する会 大西　二郎　アイリスオーヤマ株式会社 大島　昌子　玉川大学　非常勤講師 （元花王株式会社） 佐々木光邦　品質と安全文化フォーラム 理事　事務局長 中嶋　洋介　品質と安全文化フォーラム　代表理事	
第93回 2016年11月18日(金) 13:00～17:00	ケーススタディー方式のセミナー 不祥事をケース・スタディーで考える 「過去の事例から学ぶ技術者倫理・社員倫理と企業倫理」	谷　俊子	東海大学　教育開発研究センター　助教
	企業倫理と社員倫理　ジョンソン・エンド・ジョンソンの事例	和泉　祐子	カルディアクロス　代表（ 元ジョンソン＆ジョンソン 客相室長）
第94回 2016年12月16日(金) 13:00～17:00	「製品事故から消費者を守るNITEの取り組み」	池谷　玲夫	(独) 製品評価技術基盤機構（NITE） 製品安全センター
	「子どもの安全をめぐる問題の動向とISOガイド50への期待」	所　真里子	ACAP研究所主任研究員、日本子ども学会常任理事
第95回 2017年1月19日(木) 13:00～17:00	「消費者安全調査委員会における事故調査の現状と課題」	米山　眞梨子	消費者庁　消費者安全課　事故調査室　課長補佐
	「品質・安全・サステナビリティなどの国際ルール形成における国際調和 と流通業の役割 」	岸　克樹	イオン株式会社　品質管理部　部長
第96回 2017年2月17日(金) 13:00～17:00	「 SNS時代の若者のコミュニケーション 」	松下　慶太	実践女子大学　人間社会学部　准教授
	「アイリスオーヤマのリスクコミュニケーションと消費者対応について　」	大西　二郎	アイリスオーヤマ株式会社品質管理部製品リスク委員会委員
第97回 2017年3月17日(金) 13:00～17:00	「法令遵守で消費者の安全は守れるか？―商品事故から考える」	内堀　伸健	日本生活協同組合連合会品質保証本部　総合品質保証担当
	「企業のコンプライアンスとは何か ～本当にコンプライアンスは企業不祥事防止に効くのか」	南波　裕樹	大成建設株式会社　管理本部　法務部　部長
第98回 2017年4月14日(金) 13:00～17:00	安全の概念：　ISO/IEC Guide51(JIS Z 8051)に沿って安全を考える ～安全の基本と消費者の役割を考える～	向殿　政男	明治大学　名誉教授 （品質と安全文化フォーラム 会長）
	商品の安全と品質、消費者の安全を実現する「日本生協連の想い」と「仕組み」	内堀　伸健	日本生活協同組合連合会 品質保証本部　総合品質保証担当 兼 安全政策推進室長
	消費者庁から見た『食品のリスクコミュニケーション』と『消費者の安全』	藤田　佳代	消費者庁　消費者安全課　企画官
第99回 2017年5月12日(金) 13:00～17:00	社会問題としてのアレルギーから考える私たちの安全、そして安心	小嶋　修一	TBSテレビ　報道局 解説委員兼エキスパート部長
	アレルギー疾患とアレルゲン、その医療体制の現状について	関谷　剛	東京大学医学部付属病院 アレルギー・リウマチ内科医師
	消費者庁のデータベースで見るアレルギー事故	藤田　佳代	消費者庁　消費者安全課　企画官
第100回 2017年6月7日(水) 13:00～17:00	第100回セミナーを迎えて、　当フォーラムとSRMクロスオピニオンセミナーの意義　　／ 異分野の品質、安全のテーマを混合して扱う意義	向殿　政男	明治大学名誉教授、 品質と安全文化フォーラム会長
	住宅におけるユニバーサルデザインのこれまでとこれから	穐本　敬子	積水ハウス株式会社 技術部統括部長
	高齢者や子どもが安心して暮らせる住宅の安全について	小玉　善人	ポラス株式会社　総務部サービス課　安全推進チーム
	建物利用者の安全に関する法的な考え方について	南波　裕樹	大成建設株式会社　管理本部 法務部長
第101回 2017年7月7日(金) 13:00～17:00	食品とは何かから、食品表示を考える	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　取締役　品質保証室長
	食品表示を考える　～ イオンのアレルギー表示について	岩﨑　直子	イオン株式会社　品質管理部
	消費者の立場から　食品表示を考える	井之上　仁	日本生活協同組合連合会　品質保証本部　安全政策推進室
第102回 2017年8月4日(金) 13:00～17:00	事故情報の収集と安全についての国民生活センターの役割	宗林　さおり	独立行政法人 国民生活センター　理事
	「我がこと」としてのデマ・フェイクニュース：ネット上の「うわさ」を考える	松田　美佐	中央大学　文学部　教授 （社会情報学専攻）
第103回 2017年9月8日(金) 13:00～17:00	ニトリの製品安全・品質管理の基本	杉山　清	株式会社 ニトリ　特別技術顧問　製品安全・品質統括責任者
	イオンの安全・品質についての取り組み	小坂　有以	イオンリテール株式会社　商品管理本部　グループ品質管理部
	ニッポンハムグループにおける安全・安心への取り組み	岩間　清	日本ハム株式会社　品質保証部　部長
	日本生協連の安全・品質管理の基本的な考え方	内堀　伸健	日本生活協同組合連合会 品質保証本部　総合品質保証担当 兼 安全政策推進室長
	素朴な意味での安全から、管理される安全、価値としての安全へ	向殿　政男	明治大学名誉教授 (一社)品質と安全文化フォーラム 会長
第104回 2017年10月13日(金) 13:00～17:00	子供の安全を中心とした消費者安全の確保について	吉村　卓也	消費者庁 消費者安全課 課長補佐
	食品表示制度について（原料原産地表示を中心に）	蓮見　友香	消費者庁 食品表示企画課 課長補佐
	課徴金制度について	土平 峰久	消費者庁 表示対策課 係長
	洗濯表示について	小椋　容一	消費者庁 表示対策課 景品・表示調査官
	消費者庁のホームページで、消費者庁の今を知ろう	大野　純一	消費者庁 総務課 広報室長

第105回 2017年11月10日(金) 13:00～17:00	表示は誰のためのものか？ 表示はどうあるべきか？	井之上　仁	日本生活協同組合連合会　品質保証本部　安全政策推進室
	地震時にも安全な建物　－作る側がすること・使う側がすることー	金子　美香	清水建設株式会社　コーポレート企画室　副室長
第106回 2017年12月8日(金) 13:00～17:00	ヒューマンエラーと食品の安全―マネジメントシステムに何が足りないか	湯川　剛一郎	東京海洋大学大学院　食品流通安全管理専攻 教授
	ヒューマンエラーとヒューマンファクター	垣本　由紀子	日本ヒューマンファクター研究所　顧問　安全人間工学担当
第107回 2018年1月11日(木) 13:00～17:00	消費者安全対策としての消費者志向経営の推進と消費者安全調査委員会の活動	福岡　徹	消費者庁 審議官
	企業の消費者志向経営　― 企業倫理と消費者安全と安全文化	南波　裕樹	大成建設株式会社 管理本部 法務部長
	消費者志向経営は当たり前なはずなのに、現実にはなぜ？	向殿　政男	明治大学　名誉教授、 明治大学校友会 会長
第108回 2018年2月9日(木) 13:00～17:00	消費者を中心として食の安全を取り巻く問題を考える	藤田　佳代	消費者庁 消費者安全課　企画官
	製品の安全とサイレントチェンジ	向殿　政男	明治大学　名誉教授、 明治大学校友会 会長
第109回 2018年3月9日(木) 13:00～17:00	事務ミスはなぜ多い？どう防ぐ？	中田　亨	産業技術総合研究所　人工知能研究センター　連携副室長
	事例に学ぶヒューマンエラーとその対策	垣本　由紀子	日本ヒューマンファクター研究所　顧問
第110回 2018年4月12日(木) 13:00～17:00	データ改ざんと集団思考　私たちは何に気をつけるべきか	中嶋　洋介	一般社団法人 品質と安全文化フォーラム　代表理事
	アレルギーを抱える弱者と共に生きるために	大石　泰之	日本ハム株式会社　中央研究所　次長
第111回 2018年5月17日(木) 13:00～17:00	食品安全におけるリスクベースのアプローチとリスク低減	松本　浩二	製品安全、R-Mapコンサルタント　元NITE技術顧問
	KY（危険予知）活動でヒューマンエラーを抑える ～労働安全での実践から	阿部　研二	中央労働災害防止協会　常務理事
第112回 2018年6月14日(木) 13:00～17:00	食品表示　　～伝える側と受け取る側の関係についての一考察	相馬　成光	日本ピュアフード
	消費者教育の推進に関する基本的な方針の変更 ～ 食品表示に係る消費者教育	米山　眞梨子	消費者庁　消費者教育・地方協力課 消費者教育推進室長
第113回 2018年7月12日(木) 13:00～17:00	「意図する使用と誤使用、原因と対策　化粧品、日用品、食品など～」	大島　昌子	東京経済大学大学院、 元花王株式会社生活者コミュニケーション部長
	「誤使用や不注意による家庭用製品の事故と対策の現状」 ～ ガスコンロ、調理家電、台所回りの製品を中心に NITEの事故情報データベースから	吉津　兼人	(独) 製品評価技術基盤機構　製品安全センター　参事官
第114回 2018年8月9日(木) 13:00～17:00	「福島原発事故と安全文化」	北村 俊郎	元 日本原子力発電株式会社 社長室長(理事)
	「福島第一原子力発電所事故の確率論的安全評価の観点からの検討（再検討）」	松岡　猛	元宇都宮大学工学部機械システム工学科教授
第115回 2018年9月13日(木) 13:00～17:00	「子どもの事故防止に向けて」	臼井　秀人	消費者庁　消費者調査課 政策企画専門職
	「商品・サービスを選ぶ際の行動・意識とインターネットに関連する消費生活相談」	臼井　秀人	消費者庁　消費者調査課 政策企画専門職
	「高齢者に関する消費生活相談」	仙北　由美	消費者庁　消費者調査課　課長補佐
	「高齢者の事故防止に向けた注意喚起」	加藤　純	消費者庁　消費者安全課　課長補佐
第116回 2018年10月11日(木) 13:00～17:00	「食品安全委員会の取組～リスク評価を中心として～」	筬島　一浩	内閣府　食品安全委員会事務局　情報・勧告広報課　課長
	「化学物質の安全性とリスク評価について」	清水　将史	独立行政法人 製品評価技術基盤機構
第117回 2018年11月8日(木) 13:00～17:00	「食に関する消費者行政 ―今後の方向を考える　―」	藤田　佳代	消費者庁 消費者安全課　企画官
	「ものづくりにとっての安全性とは」	聳城　豊	㈱ライフィル　動物施設環境企画室　主席コンサルタント　獣医師 元ライオン㈱ 研究開発本部 安全性評価センター所長
第118回 2018年12月13日(木) 13:00～17:30	「消費者と企業が協働する時代へ」	井上　淳	日本チェーンストア協会　専務理事 兼　国民生活産業・消費者団体連合会　専務理事
	「国際的なフードセーフティの枠組みと機械設備の衛生設計」	大村　宏之	一般社団法人日本食品機械工業会　事業部　部長　博士(工学)
第119回 2019年1月17日(木) 13:00～17:30	製品安全における安全確保の考え方とセキュリティ問題	向殿　政男	明治大学　顧問　名誉教授 、 明治大学 校友会 会長
	安全とあなたの未来のために ～NITEの社会的役割、安全性評価と将来展望について～	辰巳　敬	独立行政法人 製品評価技術基盤機構　理事長
第120回 2019年2月14日(木) 13:00～17:30	「 小売業『食の安心安全の取り組み』」	山田　祥男	株式会社　成城石井　　品質管理室　室長
	「 パナソニックの製品安全の取組み」	村上　洋一	パナソニック株式会社　品質・環境本部　安全・品質部　主幹
第121回 2019年3月14日(木) 13:00～17:30	「全員参加によるヒューマンエラー防止活動」	中條　武志	中央大学理工学部経営システム工学科　教授
	「なぜ従業員のセキュリティ上の問題が安全や品質管理を脅かすのか」	稲葉　緑	情報セキュリティ大学院大学　情報セキュリティ研究科 准教授
第122回 2019年4月18日(木) 13:00～17:30	「医療の多様性とアレルギー疾患　」	小嶋　修一	株式会社 TBSテレビ　報道局　解説委員 兼 エキスパート部長 兼 JNN「報道特集」担当
	「消費者に、身体 生命のリスクを伝え、事故を防ぐ 」	尾﨑　真美子	消費者庁　消費者安全課　課長
第123回 2019年5月24日(金) 13:00～17:30	社会的責任を果たす事業活動 及び 組織文化は 誰が造るのか？	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　監査役
	高信頼性組織の条件　～“結果”としてのヒューマンエラーを防ぐ	中西　晶	明治大学　経営学部　専任教授

第124回 2019年6月21日(金) 13:00～17:30	機械メーカーでの製品安全リスクアセスメント活動 ～住友重機械工業の事例紹介	石川　篤	住友重機械工業株式会社　プラスチック機械事業部 成形システム部　部長
	日本生協連における商品のリスク管理、食品のリスクアセスメント	井之上　仁	日本生活協同組合連合会　品質保証本部 商品リスク管理グループ　グループマネージャー
第125回 2019年7月19日(金) 13:00～17:30	お客様に信頼いただける ＜食の安心・安全＞を支える品質と安全のマネジメント	西中　直子	アサヒグループホールディングス株式会社　執行役員 品質保証部門ゼネラルマネージャー
	安全の第三者適合性評価と認証の役割	杉田　吉広	テュフ ラインランド ジャパン株式会社　製品部産業機器課 長岡科学技術大学専門職大学院システム安全専攻非常勤講師
第126回 2019年8月23日(金) 13:00～17:30	これからの食物アレルギー対策で求められるもの ～教育面を中心に～	沖浦　智紀	公益財団法人ニッポンハム食の未来財団　専務理事
	規制の効能と副作用 （規制は安心のための万能薬か？）	井上　淳	日本チェーンストア協会専務理事 兼　国民生活産業・消費者団体連合会専務理事（元経済産業省）
第127回 2019年9月20日(金) 13:00～17:30	人は「正しい」と判断して行動する ― ヒューマンエラーは原因ではなく結果である ―	河野 龍太郎	自治医科大学名誉教授 株式会社　安全推進研究所　代表取締役所長
	「令和元年版消費者白書」 消費者庁10年の軌跡と今後の消費者政策の展望 ― 消費者行政の更なる進化に向けて	大森　崇利	消費者庁　参事官（調査・物価等担当）
	― 最近注目される消費者問題について	仙北　由美	消費者庁　参事官（調査・物価等担当）付　参事官補佐
第128回 2019年10月11日(金) 13:00～17:30	キユーピーにおける食品安全マネジメントと技術人材の育成	宮下　隆	キユーピー株式会社　品質保証本部　食品安全科学センター長
	標準化を巡る最近の動き　～標準化をどう企業経営に生かすか～	岡本　並木	経済産業省　産業技術環境局　国際標準課　工業標準専門職
第129回 2019年11月15日(金) 13:00～17:30	「組合員とともにつくる安心」をめざして ～生協の組合員活動（消費者教育）と消費者とのコミュニケーション～	古山　みゆき	生活協同組合コープこうべ　執行役員 総合品質保証室・CRM推進担当
	エシカル消費・食品ロス削減の普及啓発 ～SDGs（持続可能な開発目標）と消費者教育の推進	米山　眞梨子	消費者庁　消費者教育推進課　企画官
第130回 2019年12月20日(金) 13:00～17:30	消費者事案が契機となって商品改善に至る事例」	山田　祥男	株式会社 成城石井　　品質管理室　　室長
	民間規格を活用した食品の安全管理　～JFSを中心に～	杉田　敬一	農林水産省 食料産業局 食品製造課 食品企業行動室 課長補佐
第131回 2020年1月24日(金) 13:00～17:30	フォーラム10年目「安全文化と消費者の安全」を考える	向殿　政男	明治大学　顧問、名誉教授、 校友会名誉会長 一般社団法人　品質と安全文化フォーラム　会長
	最新の全社的リスクマネジメント(ERM)の概要と監査への活用の方向性 ～消費者の最適な安全・品質の実現との関係を踏まえて～	吉野　太郎	東京ガス株式会社　リビング企画部　ライフバル監査役チーム
	消費者庁10年の軌跡、これからの消費者行政、消費者安全の道筋	落合　英紀	消費者庁参事官付(課長補佐)
第132回 2020年2月20日(木) 13:00～17:30	生協における商品検査の意義と役割	内堀　伸健	日本生活協同組合連合会　品質保証本部　安全政策推進室
	ヒューマンエラーの原因はマニュアルにあり ―― ダメなマニュアルをどう直すか	中田　亨	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター NEC-産総研人工知能連携研究室　副室長
第133回 2020年3月17日(火)	第133回SRMクロスオピニオンセミナーの開催中止 コロナウィルスによる感染症の拡大の恐れがあり、明治大学が2月27日から3月31日までの学内行事の中止を発表。**セミナーも中止となった。**		
第134回 2020年4月28日(火)	第133回SRMクロスオピニオンセミナーの開催中止 コロナウィルスによる感染症の拡大の恐れがあり、明治大学が5月24日まで学内行事の中止を発表。**セミナーも中止となった。**		
第135回 オンライン 2020年5月21日(木) 13:00～17:30	HACCP食品安全システム認証のFSSC22000 海外スキーム運営の考え方	湯川　剛一郎	FSSC 22000 日本代理人　湯川食品科学技術士事務所所長
	集団浅慮と心理的安全性 ―― 組織不祥事の要因と対策	中西　晶	明治大学　経営学部　教授
第136回 オンライン 2020年6月18日(木) 13:00～17:30	CVS（コンビニエンスストア）における食品安全管理	三森 伸二郎	株式会社ローソン　事業サポート本部 品質管理部　マネジャー
	消費者の安全・安心と企業の社会的責任 ――消費者市民社会における企業の責務と消費者の責務	松本　恒雄	独立行政法人国民生活センター 理事長、　一橋大学名誉教授
第137回 オンライン 2020年7月16日(木) 13:00～17:30	福島第一原発事故を分析する、事故原因と今後の見通し	松岡　猛	宇都宮大学 地域創生推進機構　非常勤講師 日本学術会議連携会員
	ヒヤリハット報告などのリスク情報を共有・分析する技法	中田　亨	産業技術総合研究所NEC-産総研人工知能連携研究室副室長 中央大学大学院　理工学研究科　客員教授
第138回 オンライン 2020年8月20日(木) 13:00～17:30	HACCP 制度化の狙い	荒木　惠美子	東海大学 海洋学部水産学科 客員教授 ,公益社団法人食品衛生協会学術顧問ISO/TC34/SC37国内分科会委員
	全社的リスクマネジメントが企業のリスク管理機能の強化で果たす5つの役割 ～消費者の最適な安全・品質の実現との関係にも触れながら～	吉野　太郎	東京ガス株式会社　リビング企画部　ライフバル監査役チーム
第139回 オンライン 2020年9月17日(木) 13:00～17:30	令和2年版消費者白書について ～最近注目される消費者問題及び消費者政策の動向	吉田　充志	消費者庁　参事官（調査・物価等担当）
	コロナ社会とインターネットコミュニケーション	松下　慶太	関西大学 社会学部　教授
第140回 オンライン 2020年10月15日(木) 13:00～17:30	FSSC認証制度と食品の安全 ～ 現実のマネジメントシステムに何が足りないか	湯川　剛一郎	FSSC 22000 日本代理人　　湯川食品科学技術士事務所 所長
	技術不正・品質不正・会計不正が止まらない ～企業不祥事防止の『勘所』を考える	南波　裕樹	大成設備株式会社　常勤監査役

第141回 オンライン 2020年11月19日(木) 13:00～17:30	シジシージャパンにおける品質保証の取り組みと今後の課題 ～ 安心・安全のPB商品提供のために ～	岩井 弘光	株式会社 シジシージャパン 品質保証室 室長
	中田亨先生のヒューマンエラー講座 勘所を学ぶためのヒューマンエラー防止の実践問題集 ～ 現場の知恵を理論に生かすヒューマンエラーリスクマネジメント ～	中田 亨	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 NEC-産総研 人工知能連携研究室 副室長 中央大学大学院 理工学研究科客員教授
第142回 オンライン 2020年12月17日(木) 13:00～17:30	高信頼性組織を目指す生協の活動・事業の現状と課題 ～コロナ禍（with, after, inter）でのリスク対応～	内堀 伸健	日本生活協同組合連合会 品質保証本部 安全政策推進担当
	高信頼性組織への道 ～監査役の役割とは何だろうか～	中西 晶	明治大学 経営学部 教授
第143回 オンライン 2021年1月21日(木) 13:00～17:30	国民生活センター理事長を振り返って ～ 企業の不祥事防止とコンプライアンス、監査役の業務を考える	松本 恒雄	独立行政法人国民生活センター顧問 （前理事長） 一橋大学名誉教授 （元大学院法学研究科教授）
	消費者志向経営 ～消費者との協働・共創による持続可能な社会の実現	吉田 充志	消費者庁 参事官 （調査・物価等担当）
	コロナ禍が食品業界に与えた様々な課題	相馬 成光	日本ピュアフード株式会社 監査役
第144回 オンライン 2021年2月18日(木) 13:00～17:30	コロナ禍とその後 新しいライフスタイルデザインとは ～働き方、生活と 生活の品質、安全、コロナ対策ほか	関谷 剛	東京大学 未来ビジョン研究センター ライフスタイルデザイン 研究ユニット客員准教授、 産業医・労働衛生コンサルタント
	ヒューマンエラーと人間の特性 ～間違いパターンが強い場合と、弱い場合の対策の使い分け	中田 亨	産業技術総合研究所 人工知能研究センター副連携研究室長 中央大学大学院 理工学研究科 客員教授
第145回 オンライン 2021年3月18日(木) 13:00～17:30	コロナ禍」から「コロナ下」へ お客さまの要望や問合せと承り対応の変化	村木 幸江	イオン株式会社 お客さまサービス部 部長
	監査役が全社的リスクマネジメントを監査する際の確認・留意事項 ～安全と品質に関する不祥事防止を含めて	吉野 太郎	東京ガス株式会社 リビング企画部 ライフバル監査役チーム
第146回 オンライン 2021年4月22日(木) 13:00～17:30	コロナ禍にリモートワークスタイルを再考する	羽田 昭裕	日本ユニシス株式会社 フェロー、 CTO (Chief Technology Officer)
	河野龍太郎先生のヒューマンエラー講座 ヒューマンエラー事例の分析手法 ～ エラー分析ではなく行動分析が重要～	河野 龍太郎	自治医科名誉教授 株式会社 安全推進研究所 代表取締役 慶友整形外科病院 院長特別補佐
第147回 オンライン 2021年5月20日(木) 13:00～17:30	人工知能とDXで安全はどう変わるか？ 何ができるか？ 何が困るか？	中田 亨	中央大学大学院 理工学研究科 客員教授 国立研究開発法人 産業技術総合研究所人工知能研究センター 副連携研究室長
	企業に期待する“消費者の安全・安心”への取り組み	川口 徳子	独立行政法人 国民生活センター 理事
第148回 オンライン 2021年6月24日(木) 13:00～17:30	企業の不祥事 データ改ざんの防止 ～ いかにして企業のGood Nameを、そして社員一人ひとりを守るか ～	南波 裕樹	大成設備株式会社 常勤監査役
	コロナ禍が与えた影響 ～ 食生活に、企業と消費者に、商品に与えた影響 ～	有馬 大輔	ハウス食品グループ本社株式会社 品質保証統括部 品質情報統括課 課長
第149回オンライン 2021年7月20日(木) 13:00～17:30	「着任のご挨拶」と「消費者のための消費者安全課の取り組み」について	大森 崇利	消費者庁 消費者安全課 課長
	変化対応型の企業経営とユーザーインの商品開発 ～品質と製品安全への取り組みと課題	大泉 宏明	アイリスオーヤマ株式会社品質管理本部マネジャー 家電製品協会 製品安全委員会委員、家電公取協 表示委員会委員、 日本電機工業会 家電安全委員会委員等 5団体8委員会委員
	「着任のご挨拶」と「品質管理普及の取り組み」について	安達 巧	農林水産省 大臣官房 新事業・食料産業部 食品製造課 食品企業行動室 課長補佐 （※品質管理普及班長 課長補佐）
	安全と情報セキュリティ ～多様化・多重化と安全方策	中田 亨	中央大学大学院 理工学研究科 客員教授 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 副連携研究室長
第150回オンライン 2021年8月26日(木) 13:00～17:30	未来のライフスタイルデザインを考える ～産業医が見る職場の安全、未来の働き方 テレワーク・リモートワークとメンタルケア、未来の生活の安全、 生活の品質	関谷 剛	東京大学未来ビジョン研究センター ライフスタイルデザイン研究ユニット 客員准教授、 産業医
	ヒューマンエラーに起因する事故を防ぐ方策 ～ ヒューマンファクターから考える	垣本 由紀子	日本ヒューマンファクター研究所 顧問 元 実践女子大学 教授
第151回オンライン 2021年9月24日(木) 13:00～17:30	令和3年版消費者白書について 特集「新しい生活様式」における消費行動 ～消費判断のよりどころの変化～	小島宗一郎	消費者庁 参事官（調査研究・国際担当）
	データ改ざん・品質の不正を未然に防止する仕組み ～ みんなで一緒に考えよう	中嶋 洋介	品質と安全文化フォーラム 代表理事
第152回オンライン 2021年10月21日(木) 13:00～17:30	多様化するヒューマンエラーに対処する品質管理と安全対策	中田 亨	中央大学大学院 理工学研究科 客員教授 国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター 副連携研究室長
	「新しい働き方」は何をもたらすのか ～高信頼性組織的視点から～	中西 晶	明治大学 経営学部 教授
第153回オンライン 2021年11月18日(木) 13:00～17:30	消費者対応部門におけるコロナの影響と今後の方向性	坂倉 忠夫	公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP) 専務理事
	コロナ禍以降のソーシャルメディアとコミュニケーション・スタイル ～ リモートネイティブ世代に注目して	松下 慶太	関西大学 社会学部 教授

第154回オンライン 2021年12月16日(木) 13:00～17:30	「 ISCC認証取得の拡大　ISCC認証とは ～SDGsの取り組みが企業・消費者へ与える影響の例 」	原島　圭介	株式会社Sofi Stage　代表取締役社長 品質と安全文化フォーラム事務局　特別顧問
	「 品質不正を起こさせない実効的な方策とは ～『日本品質』への信頼を取り戻すために ～ 」	南波　裕樹	大成設備株式会社　常勤監査役
第155回オンライン 2022年1月20日(木) 13:00～17:30	「 最近の消費者安全課の業務について 」	大森　崇利	消費者庁　消費者安全課　課長
	「 JR東海における安全の取組み 」	花本　健二	東海旅客鉄道株式会社　安全対策部　次長
第156回オンライン 2022年2月17日(木) 13:00～17:30	「 消費者安全調査委員会に期待される新たな課題について —消費者を取り巻く時流の変化や技術進歩も踏まえて—　」	大森　崇利	消費者庁　消費者安全課　課長
	「 牛肉ミンチ品質表示偽装事件、中国産冷凍ギョーザ農薬中毒事件など の教訓は活かされているか？ ～ 生協の安全・品質管理の到達点から今後を考える～	内堀　伸健	日本生活協同組合連合会　品質保証本部　安全政策推進室
	「 変化に対応する品質管理組織を目指して ～イオンの品質管理責任者に着任し思うこと～」	青木　英紀	イオン グループ品質管理部　部長
第157回オンライン 2022年3月17日(木) 13:00～17:30	「食品産業との安全管理の取り組み ～我が国の農林水産物・食品の輸出を見据えて～」	安達　巧	農林水産省 大臣官房新事業・食料産業部　食品製造課 食品企業行動室　品質管理普及班　課長補佐
	「YKK　APの製品安全の取り組み ～お取引先様を経由して、最終使用者（お客様）の安全を実現する、 窓・建材メーカーとしての悩み・実情　～	阿部　洋司	YKK AP株式会社　執行役員　品質本部　本部長
第158回オンライン 2022年4月20日(木) 13:00～17:30	「組織として危機対応 ～大規模自然災害にどのように立ち向かうか～」	中西　晶	明治大学　経営学部　教授
	「コロナによって、 ライフスタイルは　どのように変化するか？ ～生活、働き方、衣食住、人生の価値観はどのように変化するか ～」	関谷　剛	東京大学　未来ビジョン研究センター ライフスタイルデザイン研究ユニット　客員准教授、産業医
第159回オンライン 2022年5月19日(水) 13:00～17:30	「消費者安全調査委員会の新たな課題について ～ 消費者を取り巻く時流の変化や技術進歩も踏まえて ～ 」	大森　崇利	消費者庁　消費者安全課　課長
	「事故事例から学ぶ ～ ヒューマンエラーを抑える作業手順・道具・環境　」	中田　亨	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 人工知能連携研究室副室長 中央大学大学院理工学研究科客員教授
第160回オンライン 2022年6月22日(水) 13:00～17:30	「真の消費者志向とは何か ～　後発企業だからこそ見えるもの」	大泉　宏明	アイリスオーヤマ株式会社　品質管理本部　参与（元執行役員）
	「医療機器製造における3Dプリンティングの活用 ～チタン製医療機器製造技術の進展と品質および安全」	松下　富春	元 中部大学　生命健康科学部　生命医科学科 教授
第161回オンライン 2022年7月21日(木) 13:00～17:30	「コープこうべの “見守りと助け合い” 」 ～住みなれた地域で安心してくらし続けるために～	古山　みゆき	生活協同組合コープこうべ　商品政策推進室　供給企画
	「ISO/IECにおける安全の概念と安全規格体系 ～Guide 51と機械類の安全性～　」	向殿　政男	明治大学　顧問、 名誉教授、校友会名誉会長 公益財団法人　鉄道総合技術研究所　会長
第162回オンライン 2022年8月24日(木) 13:00～17:30	「これからの食物アレルギー対策で求められるもの ～ 教育面を中心に ～」	沖浦　智紀	公益財団法人ニッポンハム食の未来財団　専務理事
	「テレワーク（リモートワーク）と新たなリスク ～ 高信頼性組織の視点から ～」	中西　晶	明治大学　経営学部　教授
第163回オンライン 2022年9月22日(木) 13:00～17:30	「 水と生きる・・・ ～地球の生命に欠かせない「水」について 性質・役割・現状・安全性などについて皆さんと共に見直したい～	冨岡　伸一	酒類食品総合コンサルタント＆アドバイザー サントリーマーケティング＆コマース（株）、サンクゼール （久世福商店）千代田組ピュレーPRJ など各社技術顧問 築地本願寺・KOKOROアカデミーBiz 般若湯（洋酒）セミナー講師
	「　ミス対策はマニュアルから ～　ヒューマンエラーをコントロールするマニュアルの書き方 取扱説明書・社内文書の認知科学的改善　　」	中田　亨	国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 人工知能連携研究室　副室長 中央大学大学院理工学研究科客員教授
第164回オンライン 2022年10月20日(木) 13:00～17:30	「外食産業の自主衛生管理体制について　」	三牧　国昭	元すかいらーく ホールディングス コーポレートサポート本部品質管理グループ（食品衛生専門官）
	「良い ことも悪いことも、すべては人間の判断と行動の結果である ～人間の行動モデルと影響要因、そして、その結果～　」	河野　龍太郎	株式会社安全推進研究所 代表取締役 自治医科大学名誉教授
第165回オンライン 2022年11月22日(火) 13:00～17:30	「Farm to Table　～安全・安心・おいしさの実現～　」	阿紀　雅敏	神戸大学東京オフィス　ディレクター NPO法人食の安全と安心を科学する会　副理事長
	「最近の消費者安全行政について　」	大森　崇利	消費者庁　消費者安全課　課長
第166回オンライン 2022年12月22日(木) 13:00～17:30	「産業安全を超え、全ての人が安全であるために ～里山保全活動を通じた提言～」	佐々木　哲美	労働安全コンサルタント
	「スーパーマーケット：ライフコーポレーションの品質管理の現状と課題」	櫟　友彦	株式会社ライフコーポレーション　品質保証部
第167回オンライン 2023年1月25日(木) 13:00～17:30	「新年の挨拶 」 「安全学の視点で見る「データ改ざん」と事故」	向殿　政男	明治大学　顧問、 名誉教授、 校友会名誉会長 公益財団法人　鉄道総合技術研究所　会長
	「少子高齢化がもたらす日本の未来　社会と生活の存立リスクについて」	金子　隆一	明治大学　政治経済学部 特任教授

第168回オンライン 2023年2月24日(金) 13:00～17:30	「外食産業の食品衛生の現状と課題」	山下　安信	株式会社　フードサニテーション78 日本マクドナルド株式会社　顧問
	「ヒューマンエラーとヒヤリハット情報の活用 ～　リスクの分析・図解・判断・コミュニケーション　」	中田　亨	国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター 人工知能連携研究室　副室長 中央大学大学院理工学研究科客員教授
第169回オンライン 2023年3月22日(水) 13:00～17:30	「特定元方事業者である建設業の労働安全と今後の石綿(アスベスト) 対策について」	小玉　善人	小玉労働安全コンサルタント事務所
	「食の安全・安心を脅かす事件　～保健所の現場から見た食品衛生～」	小暮　実	食品衛生アドバイザー 元中央区保健所食品衛生監視員
第170回オンライン 2023年4月19日(水) 13:00～17:30	「大変革時代の日常を支えるチェーンストア」 ～CSと2つのES　鍵を握るDX＆VUCAの時代を共に生きる企業と消費者	井上　淳	日本チェーンストア協会　副会長 開志専門職大学　客員教授
	「食品安全についての再考　～人と食との関わり合い、そして食品安全文化」 ～ 消費者リスク視点・経営視点・組織文化視点	相馬　成光	日本ピュアフード株式会社　監査役
第171回 2023年5月18日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「安全の説得とリスクコミュニケーション ～交渉・説得・お願いのコミュニケーション理論」	中嶋　洋介	品質と安全文化フォーラム　代表理事、　博士(学術)、 元 武蔵野大学 人間関係学部 非常勤講師 交渉学 元(独)労働政策研究・研修機構　労働大学校　講師
	「食品安全マネジメントシステム（FSMS）認証スキーム ～ FSSC 22000の最新動向」	湯川　剛一郎	湯川食品科学技術士事務所　所長 （FSSC日本代理人）
第172回 2023年6月29日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「健康食品の安全性と最近の問題 ～「健康食品のことがよくわかる本」から」	畝山　智香子	国立医薬品食品衛生研究所　安全情報部長
	「食品・製品企業の現場でのヒューマンエラー：　頻出事例とその対策」	中田　亨	産業技術総合研究所人工知能研究センター 副研究室長 中央大学大学院理工学研究科　客員教授
第173 回 2023年7月20日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「食品安全確保に関する法規制の現状と課題 ～安全規制の在り方を考える」	平野　展代	一般社団法人 日本食品安全支援機構　理事長
	「安全文化を育てよう　～安全な社会への貢献～　」	向殿　政男	明治大学　顧問、名誉教授、校友会名誉会長 公益財団法人　鉄道総合技術研究所　会長
第174回 2023年8月24日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	食品企業の労働災害と「食品機械の安全設計」「転倒事故防止」について	野呂　武史	元 キューピー株式会社 生産本部基盤向上推進部 安全チーム
	「調味料製品の微生物制御と味の素グループにおける製品設計」	濱﨑　芳活	味の素株式会社　品質保証部　品質保証推進グループ長
第175回 2023年9月21日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「 住まいと安全、そして安心へ 」 ～住まいはアフターが決める～	豊島　秀一	三井ホームリンケージ株式会社　幹事 一般社団法人監査懇話会　　理事
	「日本の食料需給とその課題」	湯川　剛一郎	技術士（農業部門（農芸化学）、総合技術監理部門） 元昭和女子大学　生活科学部健康デザイン学科　講師
第176回 2023年10月19日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	『食品安全と食品防御　～社会や食品企業に求められる食品テロ対策 ～ 』	今村　知明	公立大学法人 奈良県立医科大学　公衆衛生学講座　　教授
	『　ヒューマンエラー対策にまつわる管理者の悩み ～ 工程・装置・人・教育、どれをどうするか？ ～　』	中田　亨	産業技術総合研究所人工知能研究センター 副研究室長 中央大学大学院理工学研究科　客員教授
第177回 2023年11月16日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	『　わかりやすく伝えるとは　　～ 食品安全と食生活を例にして ～　』	堀口　逸子	慶應義塾大学　医学部　非常勤講師
	『 介護保険制度施行(H12年)以来の転倒予防の取組み ～ 「現場の知恵」がなければ、転倒事故は防止できない　～　』	中嶋　洋介	一般社団法人品質と安全文化フォーラム代表　・博士(学術)
第178回 2023年12月21日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	『食品表示と消費者の安全と安心 ～　企業の食品のコミュニケーションには、 表示以外にやるべきことはないのか？　』	湯川　剛一郎	(一社)食品表示検定協会理事長 技術士（農業部門（農芸化学）、総合技術監理部門）
	『医師からみた、医療におけるリスクと安全 ～反ワクチン騒動や医療ビジネスから見る医療の安全神話～　』	関谷　剛	東京大学　未来ビジョン研究センター　ライフスタイルデザイン 研究ユニット　客員准教授、医師、医学博士
第179回 2024年1月18日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「日本ハムにおける消費者の安全・安心と品質への取り組み ～　消費者の食べる喜びを実現する　～　」	大石　泰之	日本ハム株式会社　執行役員　品質保証部長
	「女性の活躍を消費者目線で、どう捉えるのか ～　男女共同参画の重点方針から考える　～　」	大森　崇利	内閣府　男女共同参画局　総務課長
第180回 2024年2月22日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「　HACCP、ISO 22000そしてFSSC 22000　」	湯川　剛一郎	湯川食品科学技術士事務所　所長 ISO/TC34/AC17（食品安全マネジメントシステム）エキスパート、 国内専門分科会委員
	消費者の安全を支える「認証制度」と「ISO/IECガイド51」 ～ 「安全側面 — 規格への導入指針 JIS Z 8051:2015 （ISO/IEC　ガイド51:2014)」の安全の概念」　　～	中嶋　洋介	一般社団法人 品質と安全文化フォーラム　代表理事 機械安全標準化特別委員会　　ISO/TC199部会委員、 博士(学術)
第181回 2024年3月21日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	『手洗いの必要性と正しい洗い方 ～子ども達に手洗いを習慣化させる取り組み～　』	深澤　純一	日本石鹸洗剤工業会　手洗い啓発グループ 薬剤師　理学博士
	『情報システムと人間との関係によるヒューマンエラー ～誤操作・誤発注・誤送信の実態とその対策～ 』	中田　亨	産業技術総合研究所人工知能研究センター 副研究室長 中央大学大学院理工学研究科　客員教授　博士(工学)
第182回 2024年3月21日(木) 13:00～17:30 オンライン&対面併用	「 カルビーの創業者の想いと歩んだ道 ～ 誰からも愛される食品企業をめざして ～　　」	遠藤　英三郎	カルビー株式会社 品質保証本部 本部長
	「 安全のつくり方と伝え方 ～製品にも、食品にも通じる「ISO/IEC GUIDE51機械安全」の基本的な考え方～ 」	中嶋　洋介	機械安全標準化特別委員会 ISO/TC199部会委員(機械安全) 一般社団法人 品質と安全文化フォーラム　代表理事